

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公表番号】特表2007-500210(P2007-500210A)

【公表日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-001

【出願番号】特願2006-532392(P2006-532392)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 9/16

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月9日(2007.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの金属を含んでなる微粒子担体材料上の少なくとも1つのIRM化合物を含んでなる、IRM-担体複合体。

【請求項2】

前記IRM化合物が前記担体材料に共有結合的に付着する、請求項1に記載のIRM-担体複合体。

【請求項3】

前記担体材料が多孔性粒子の形態である、請求項1に記載のIRM-担体複合体。

【請求項4】

前記担体材料が有機ポリマーまたは無機ポリマーを含んでなる、請求項1に記載のIRM-担体複合体。

【請求項5】

前記微粒子担体材料が0.1 μ m~20 μ mの平均粒度を有する、請求項1に記載のIRM-担体複合体。

【請求項6】

前記微粒子担体材料が磁性である、請求項1に記載のIRM-担体複合体。

【請求項7】

少なくとも1つのIRM化合物が、イミダゾキノリンアミン、アミド置換イミダゾキノリンアミン、スルホンアミド置換イミダゾキノリンアミン、尿素置換イミダゾキノリンアミン、アリールエーテル置換イミダゾキノリンアミン、複素環式エーテル置換イミダゾキノリンアミン、アミドエーテル置換イミダゾキノリンアミン、スルホンアミドエーテル置換イミダゾキノリンアミン、尿素置換イミダゾキノリンエーテル、チオエーテル置換イミダゾキノリンアミン、6-、7-、8-、または9-アリールまたはヘテロアリール置換イミダゾキノリンアミン、テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、アミド置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、スルホンアミド置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、尿素置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、アリールエーテル置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、複素環式エーテル置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、アミ

ドエーテル置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、スルホンアミドエーテル置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、尿素置換テトラヒドロイミダゾキノリンエーテル、チオエーテル置換テトラヒドロイミダゾキノリンアミン、イミダゾピリジンアミン、アミド置換イミダゾピリジンアミン、スルホンアミド置換イミダゾピリジンアミン、尿素置換イミダゾピリジンアミン、アリールエーテル置換イミダゾピリジンアミン、複素環式エーテル置換イミダゾピリジンアミン、アミドエーテル置換イミダゾピリジンアミン、スルホンアミドエーテル置換イミダゾピリジンアミン、尿素置換イミダゾピリジンエーテル、チオエーテル置換イミダゾピリジンアミン、1, 2 - 架橋イミダゾキノリンアミン、6, 7 - 縮合シクロアルキルイミダゾピリジンアミン、イミダゾナフチリジンアミン、テトラヒドロイミダゾナフチリジンアミン、オキサゾロキノリンアミン、チアゾロキノリンアミン、オキサゾロピリジンアミン、チアゾロピリジンアミン、オキサゾロナフチリジンアミン、チアゾロナフチリジンアミン、そしてピリジンアミン、キノリンアミン、テトラヒドロキノリンアミン、ナフチリジンアミン、またはテトラヒドロナフチリジンアミンに縮合した1H - イミダゾ二量体、それらの薬剂的に許容可能な塩、およびそれらの組み合わせよりなる群から選択される、請求項1に記載のIRM - 担体複合体。

【請求項8】

少なくとも1つの追加的薬剤をさらに含んでなる、請求項1に記載のIRM - 担体複合体。

【請求項9】

送達銃に含有される、請求項1に記載のIRM - 担体複合体。